

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 ー分析から見てきた成果・課題と今後の取組についてー

区 名	港区
学 校 名	池島小学校
学校長名	小山 勝一

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・池島小学校では、第6学年 19名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

大阪府の結果と比較すると、平均正答率は国語－23%、算数－24%下回っている。国語では正当数半分以下の児童は66.8%、算数では72.3%であり、正当数分布は大きく左に偏っている。愛着に課題のある児童が多く在籍する本校では、児童の自己肯定感を高め、何事にも積極的に挑戦し、粘り強く取り組む姿勢を育てるために指導者は日々肯定的な声掛けをしている。また、児童の実態を見極めながら個別最適な授業づくりに努めている。しかし、設問32・35・57からわかるように、自ら進んで学習に取り組もうとする意欲にはムラがあり、学習することの意義を知り、学習することが楽しいと思えるように導く必要があると感じる。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

内容別正答率はどれも大阪市との差は大きい。これは、まず問題文に書かれていることを正確に読み取ることが苦手な児童が多いと考えられる。漢字の力に関しては、第1ブロックで取り組んでいる漢字検定に向けての学習の成果により着実に向上している。

〔算数〕

本校では日々の授業の中で、教科書やデジタルドリル、教員が作成した学習プリント等を積極的に活用している。その成果が少しずつ現れ、「数と計算」領域の正答率は上昇傾向である。

〔理科〕

「エネルギー」を柱とする領域・「粒子」を柱とする領域については、大阪市との差は少ない。しかし、全体的に前学年までの既習事項を活用する問題では、忘れている内容も多く誤答が増える傾向にある。

また、どの教科においても、記述式の問題の正答率は非常に低く、自分の考えを文章で表現する力に課題がある。

質問調査より

【設問1・2・71】授業で学習したことを健康的な生活に生かそうとしているが、規則正しい生活に課題がある児童もあり、家庭や寮との連携が必要である。【設問5・6】自分の頑張りを先生に認められている安心感もあり、自己肯定感が高い児童が多い。【設問9】いじめに対し、100%の児童がいけないことだと考えている。【設問8・11・27】他人と関わり、よりよい社会を作ろうということに対しては消極的である。【設問12・14】友達関係にあまり満足できていない児童が多く、それが学校に行くのは楽しいと感じることができない理由の1つになっていると考えられる。【設問21・23】活字に親しむ機会が多い。【設問74・76・79】ほぼ毎日学習者用端末を使用しているが、まだまだ操作に関しては自信が持てていない状況である。【設問32・35】国・算・理とも学習自体は好きであると答えた児童が多かったが、自分の考えをもち、友達との交流の中で深めていくことには消極的である。

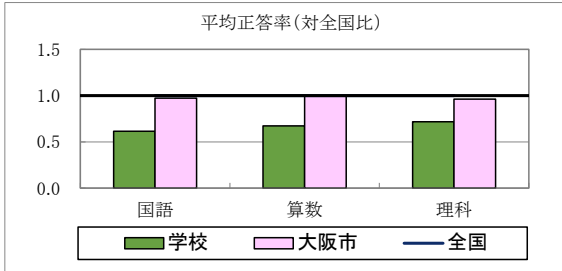
今後の取組(アクションプラン)

大阪市教育振興基本計画の最重要目標の一つである「未来を切り拓く学力・体力の向上」を実現するために、本校の実態に応じた「主体的・対話的で深い学び」を実施していく。具体的には、児童自身が学習單元ごとに見通しを立て、児童同士で相談し、自分に合った学習方法を探っていく自己調整学習を昨年度に引き続き全学年で行っていく。一年生から六年生まで一貫した授業形態をとることで、着実な学習方略の上積みが期待できる。そこに、「ブロック化による学校支援事業」により進めている漢字検定、専門家の招へいなどをこれまでと同様に行っていく。さらに、学力向上サポーターを活用した放課後学習「池島タイム」の内容の充実、教員の指導力向上のための校内研究、ICT機器の効果的な活用、読書タイムの実施なども継続する。これらの取り組みを通して、児童が充実感・達成感を得られるようにしていく。

【 全体の概要 】

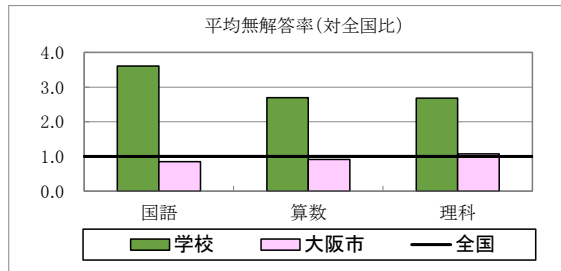
平均正答率（％）

	国語	算数	理科
学校	41	39	41
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1



平均無解答率（％）

	国語	算数	理科
学校	11.9	9.7	7.5
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8



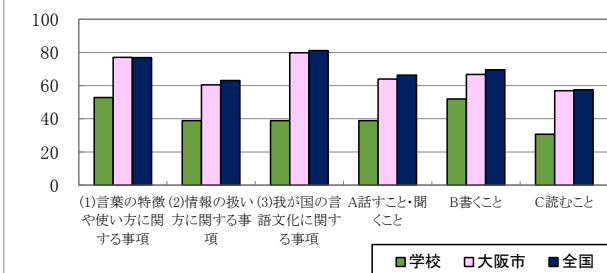
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	52.8	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	38.9	60.4	63.1
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	38.9	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	38.9	64.0	66.3
B 書くこと	3	51.9	66.7	69.5
C 読むこと	4	30.6	56.9	57.5

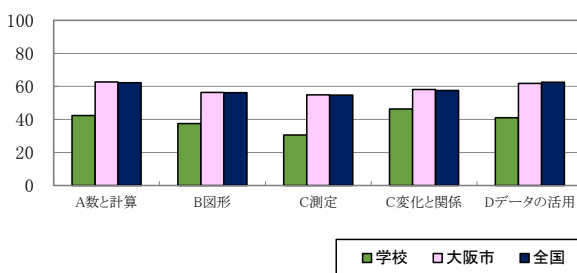
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	42.4	62.7	62.3
B 図形	4	37.5	56.4	56.2
C 測定	2	30.6	54.9	54.8
C 変化と関係	3	46.3	58.2	57.5
D データの活用	5	41.1	61.9	62.6

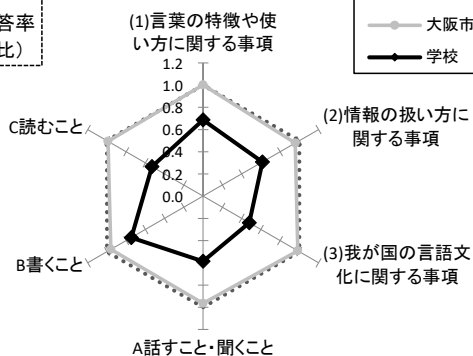
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



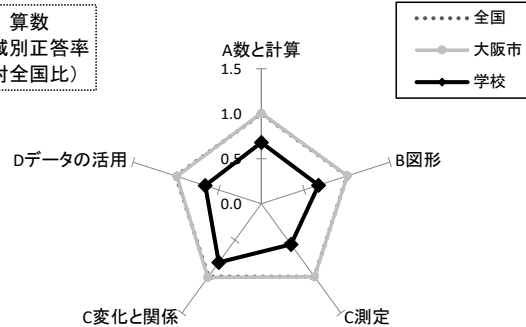
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 内容別正答率 (対全国比)

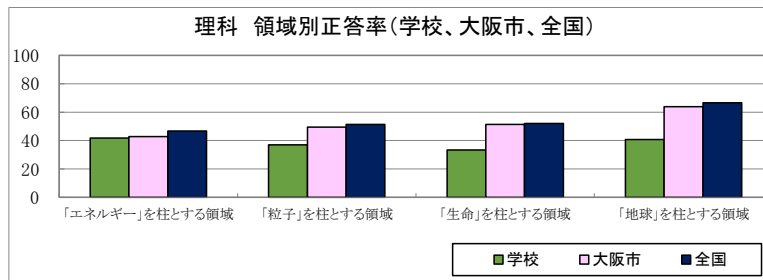


算数 領域別正答率 (対全国比)

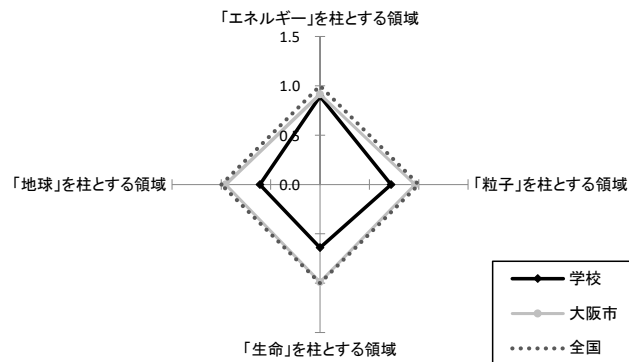


【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	41.7	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	37.0	49.5	51.4
B 区分	「生命」を 柱とする領域	33.3	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	40.7	63.8	66.7



理科 領域別正答率(対全国比)



児童質問より

質問番号

質問事項

1

朝食を毎日食べていますか

1

2

3

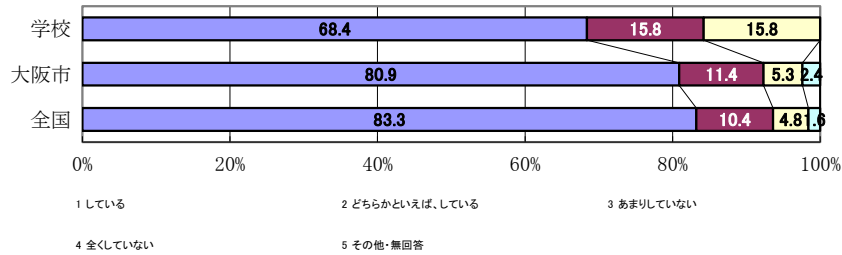
4

5

6

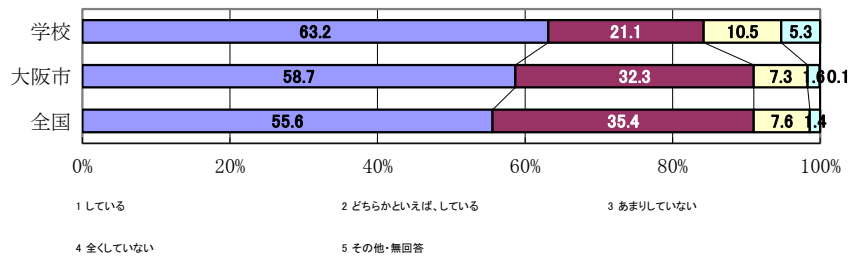
7

8



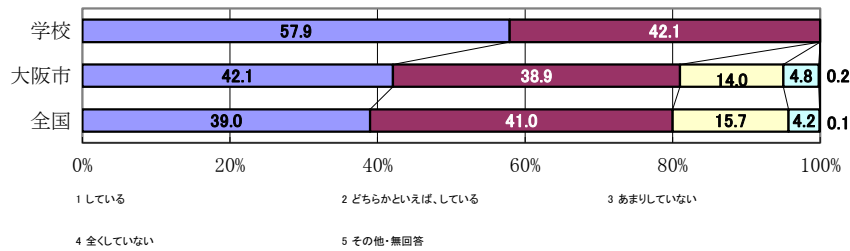
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



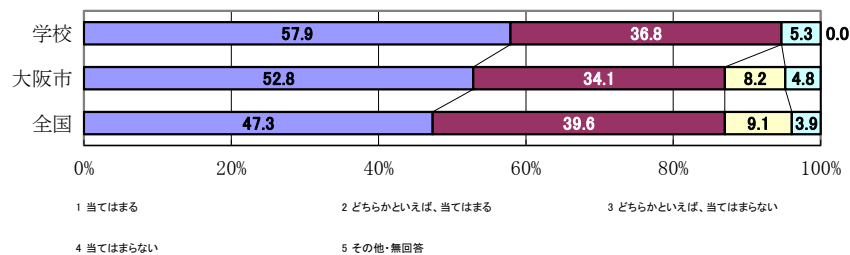
71

健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立っていますか



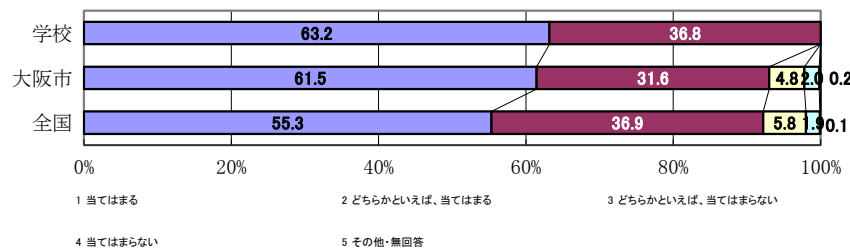
5

自分には、よいところがあると思いますか



6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



児童質問より

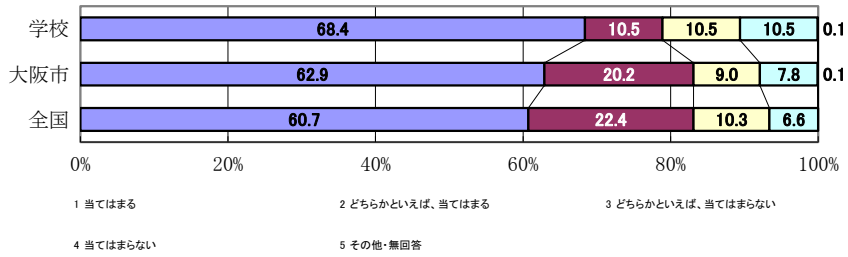
質問番号

質問事項

7

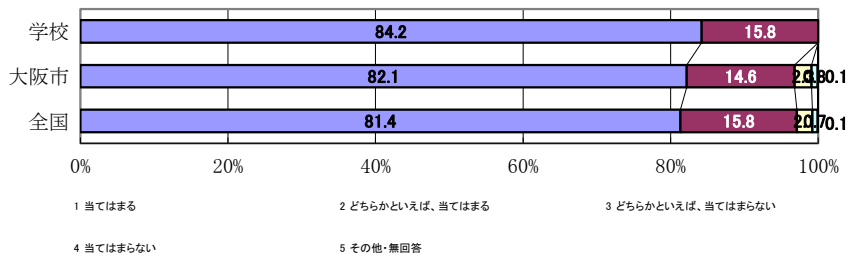
将来の夢や目標を持っていますか

1 2 3 4 5 6 7 8



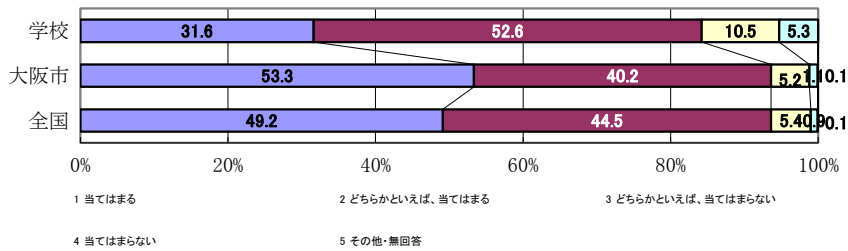
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



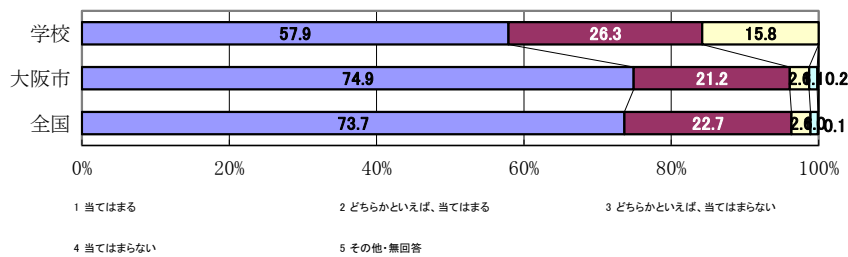
8

人が困っているときは、進んで助けていますか



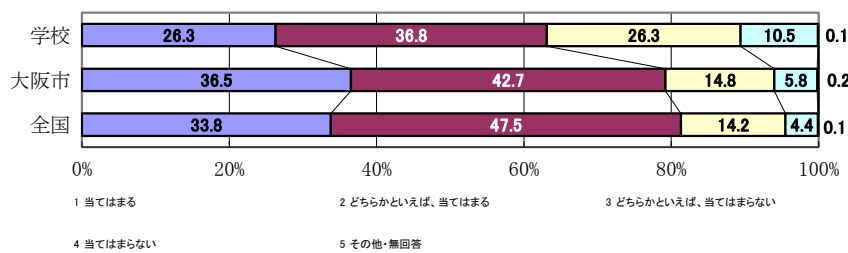
11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



27

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



児童質問より

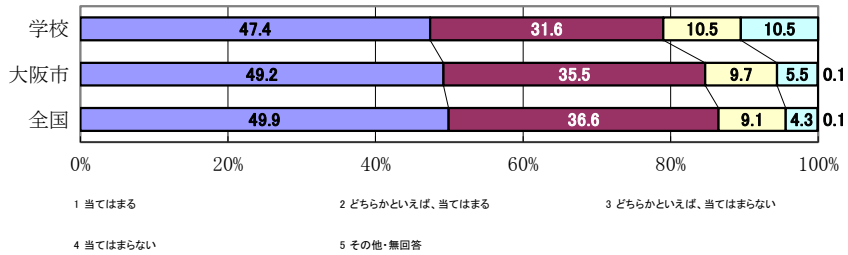
質問番号

質問事項

12

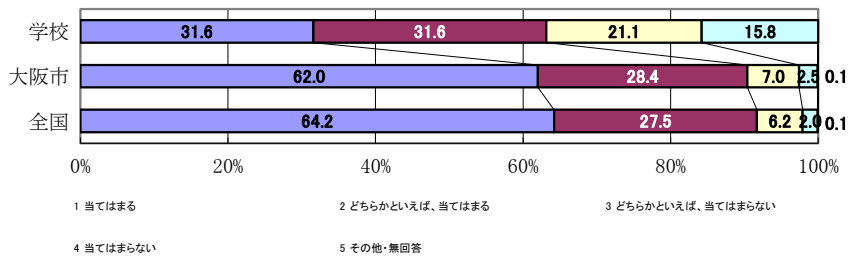
学校に行くのは楽しいと思えますか

1 2 3 4 5 6 7 8



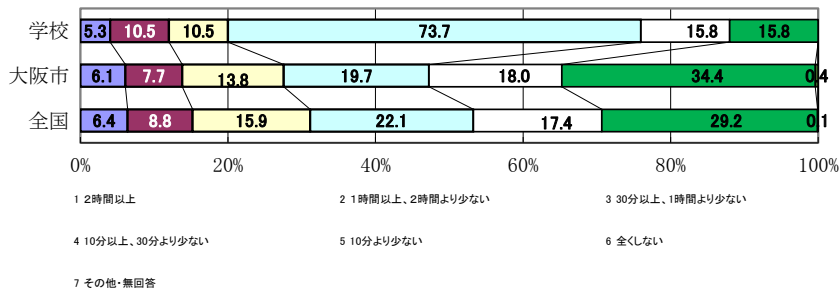
14

友達関係に満足していますか



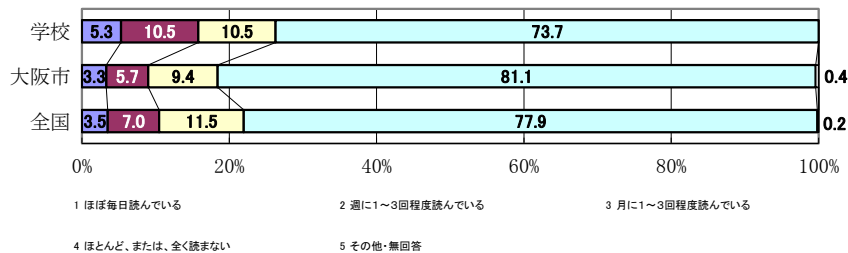
21

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を行いますか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)



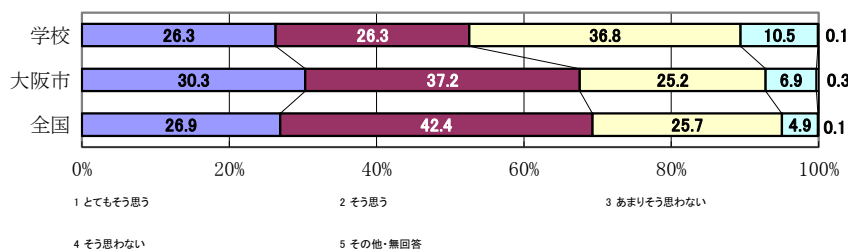
23

新聞を読んでいますか



74

あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができますか



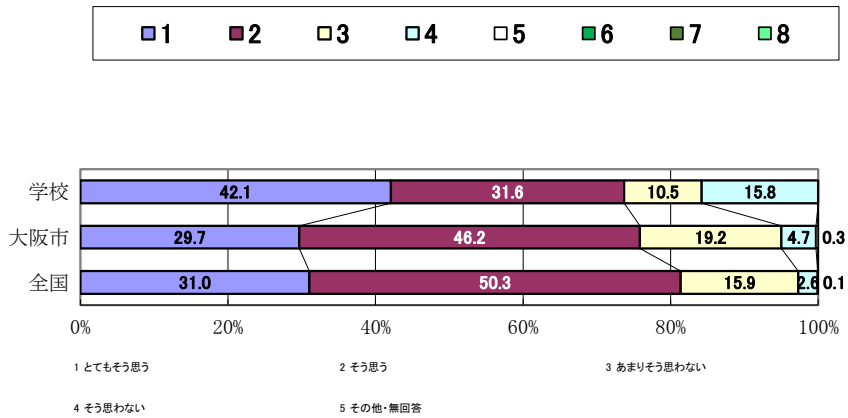
児童質問より

質問番号

質問事項

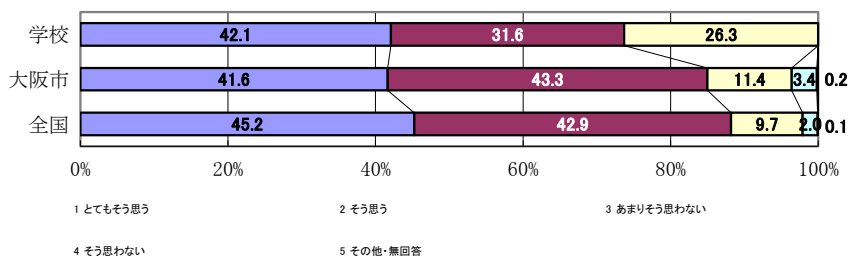
76

5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(1)自分のペースで理解しながら学習を進めることができる



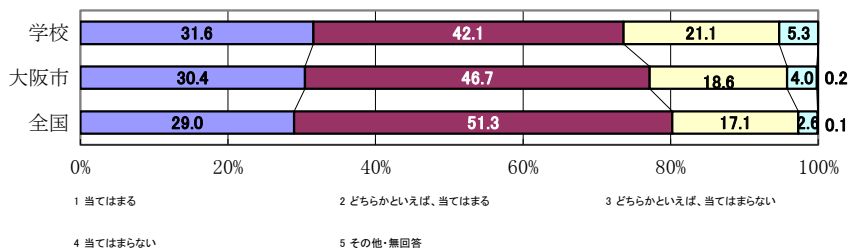
79

5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(4)画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる



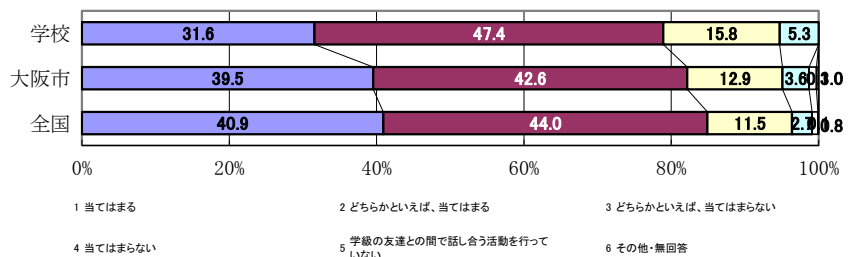
32

5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



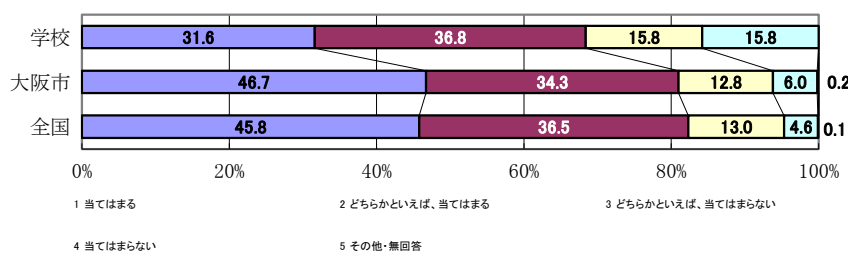
35

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



57

算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか



学校質問より

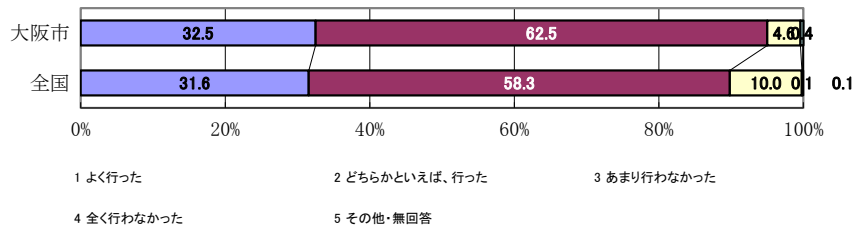
質問番号

質問事項

32

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

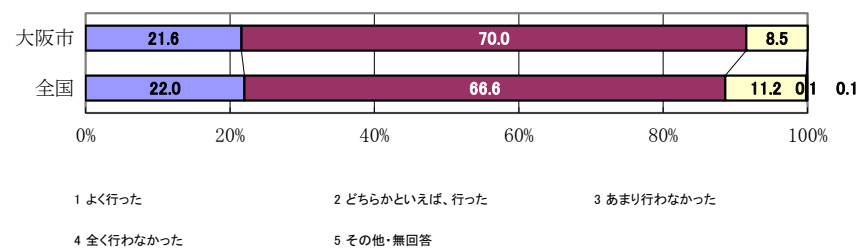
学校 「よく行った」を選択



33

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか

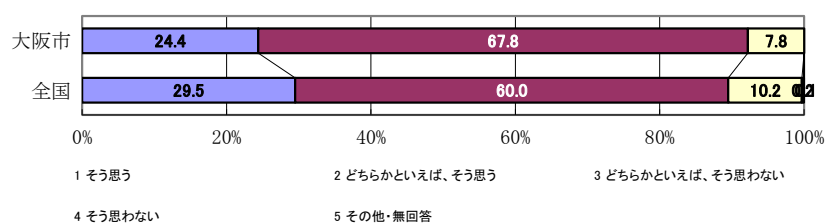
学校 「よく行った」を選択



40

調査対象学年の児童に対する指導に関して、前年度までに、学習評価の方針を児童に示した上で、児童の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かすことを心がけましたか

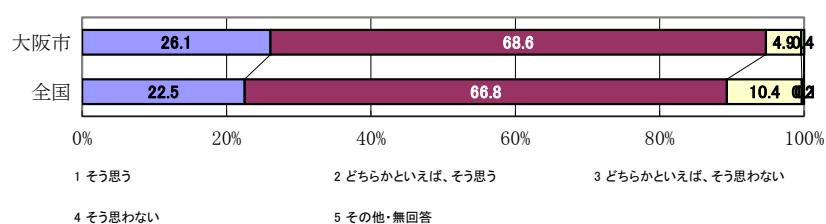
学校 「そう思う」を選択



25

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

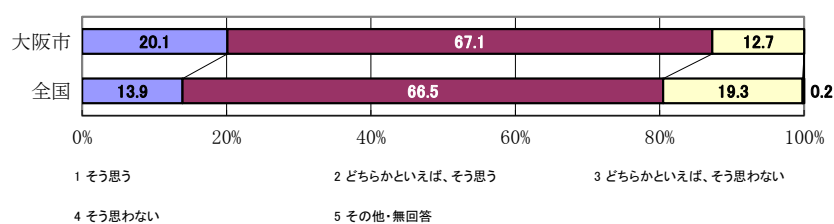
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



26

調査対象学年の児童は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



学校質問より

質問番号

質問事項

27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていますか

28

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

29

調査対象学年の児童は、授業では、自分で学ぶ内容を決め、計画を立てて学ぶ活動を行っていると思いますか

58

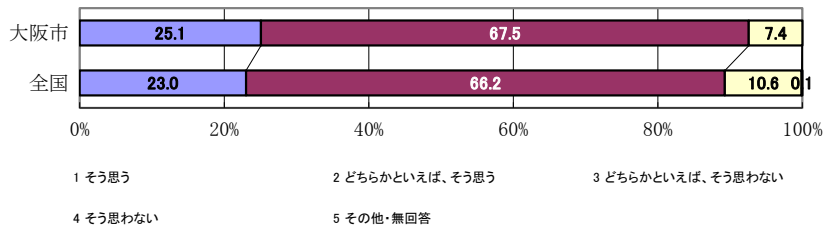
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

59

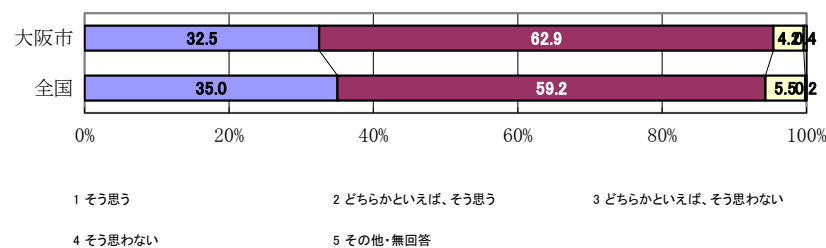
調査対象学年の児童が自分で調べる場面(ウェブブラウザによるインターネット検索等)では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

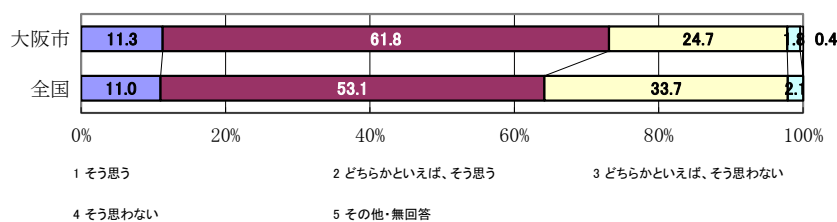
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



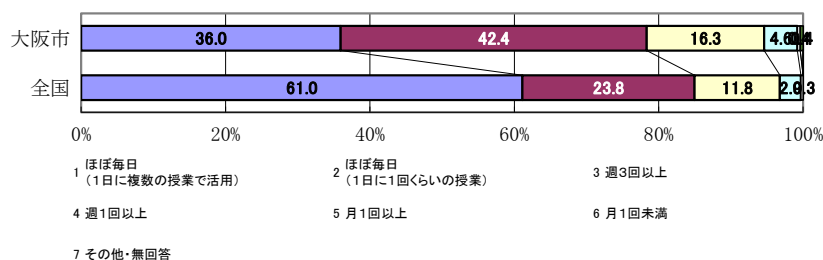
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



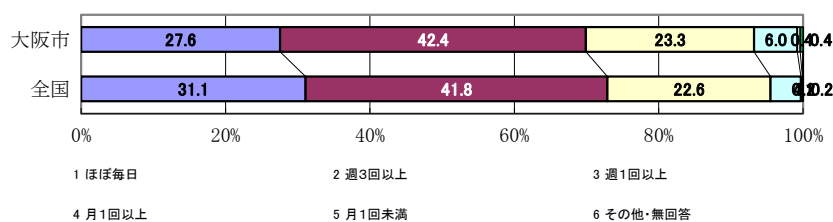
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



学校 「ほぼ毎日(1日に複数の授業で活用)」を選択



学校 「週3回以上」を選択



学校質問より

質問番号

質問事項

60

調査対象学年の児童が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

61

教職員と調査対象学年の児童がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

80

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか

81

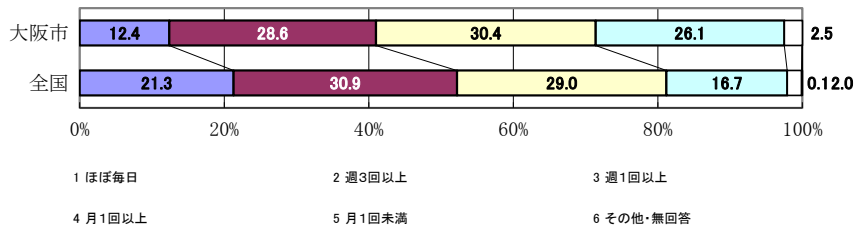
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習について、児童が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか

82

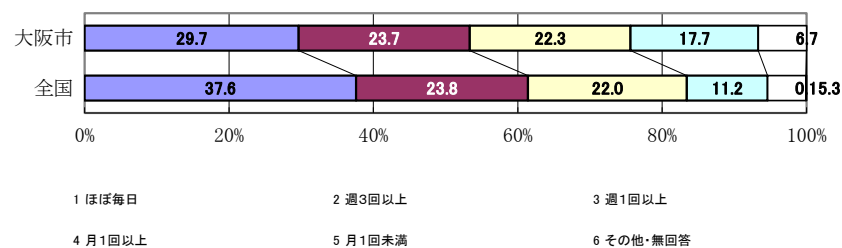
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校では、児童が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かしましたか

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

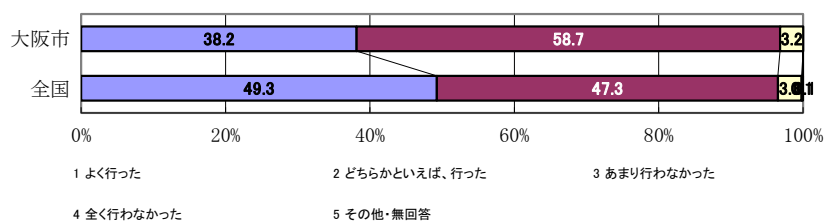
学校 「週1回以上」を選択



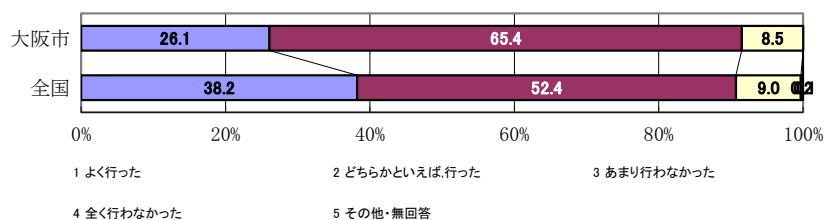
学校 「月1回以上」を選択



学校 「よく行った」を選択



学校 「よく行った」を選択



学校 「よく行った」を選択

